

Date: 1999.08.09
 Board: 21CHU
 Body-part: 1,2418
 Message-Id: 853
 Delivery-date: 1999年8月6日(金) 10時31分 (JST)
 Send-date: 1999年8月6日(金) 10時31分 (JST)
 Subject: 99/07/30 注意報 アブラナ科作物 コナガ
 From: 東京防除所 <ktky0301>

東京都病虫害防除所 平成11年7月30日

平成11年度 病虫害発生予察注意報第1号

病虫害名：コナガ

作物名：アブラナ科作物

1. 注意報の内容

発生地域：都内全域

発生量：多

発生時期：8～10月

2. 注意報発令の根拠

- 1 コナガの発生は予察灯調査では6月は多であり、7月はやや多であった。
- 2 フェロモントラップ調査では、6月は過去10年間で最大値を示した。
- 3 巡回調査(7月13～16日)によれば、キャベツやブロッコリーなどの未収穫物や残さの中に老熟幼虫や蛹が高い密度で寄生したまま放置されている圃場が多くみられる。
- 4 現在、栽培中のコマツナなどアブラナ科作物にも上記のような状況が生じ始めていいる。
- 5 天気予報によると、8月の気温および降水量は平年並と予想されるため発生は継続する。

3. 防除上の注意事項

- 1 未収穫物や残さを早急に地中に埋めるなど適切な処分を行う。
- 2 育苗期の防除を徹底して行う。
- 3 本圃への播種時または定植時に粒剤施用を行う。
- 4 薬剤抵抗性の発達を回避するため、作用機作の異なる薬剤を輪番散布する。
- 5 生育初期には天敵類に影響の少ないIGR剤、BT剤、クロロニコチニル剤を使用して保護に努める。

4. コナガの主な防除薬剤

 キャベツ ハクサイ ダイコン ブロッコリー カブ コマツナ

〔土壌施用粒剤〕

オコル粒剤5	カーバメート	○	○		
ガゼット粒剤	カーバメート	○	○	○	○

モスビ°ラン粒剤	クロロニコチル	○	○		○
----------	---------	---	---	--	---

〔 散布薬剤 〕

アケリック乳剤	有機リン	○				
バ°ダ°ンSG水溶剤	ネライストキン	○	○	○	○	
アタフ°ロン乳剤	IGR	○	○	○	○	
ノ°モルト乳剤	IGR	○	○	○	○	
カスケート°乳剤	IGR	○	○	○		
マツチ乳剤	IGR	○	○			
コテツフロアブ°ル	クロルフェナビ°ル	○	○	○	○	
モスビ°ラン水溶剤	クロロニコチル	○	○	○	○	
アフア°ム乳剤	マクロライト°	○	○	○	○	
スビ°ノ°ス顆粒水和剤		○	○	○		
BT剤		○	○	○	○	○